

in the Micronesian atoll moss flora *Calymperes aongstroemii* Besch., *C. moorei* Bartr., and *C. tuamotuense* Bartr., all of which exhibit a similar distribution.

We thank Dr. Derral Herbst for making available his collections and Dr. P. van Royen (BISH) for the loan of many comparative materials. Mrs. Terabata Groves and Dr. K. Luomala helped with the names of some islands..

Literature cited

- Bartram, E. B.: Mosses of the Philippines. Phil. Journ. Sci. 68: 1-423 (1939).
 Dixon, H. N.: War zone mosses. Bryologist 46: 14-22 (1943). Miller, H. A.: A preliminary list of Micronesian bryophytes. Bryologist 63: 116-125 (1960). Miller, H. A., H. O. Whittier & C. E. B. Bonner: Bryoflora of the atolls of Micronesia. Beih. Nova Hedwigia 11: 1-93 (1963). Van Zanten, B. O.: Mosses of the Star Mountains Expedition. Nova Guinea, Bot. 16: 263-368 (1964).

* * * *

ギルバート諸島はミクロネシアの東南部を占める位置にあり、主としてサンゴ礁からなる小さな島々の集りである。この諸島の蘚苔類はまだよく分っていないが、Dr. D. Herbst の採集により総計 14 種が確認された。このうち、半数の 7 種がギルバート諸島から新しく知られるもので、とくに苔類 3 種はギルバート諸島における最初の苔類の記録となる。いづれの種類もミクロネシアの他の諸島（例えはカロリン、マーシャル群島など）からは記録されている。今回の採集品の中の植物体はいづれも小形のものが多く、ココヤシの樹幹、岩上などにへばりつくようにして生育するものが多い。

□K. Nisizawa et al.: **Proceedings of the Seventh International Seaweed Symposium.** i-xvi+646 pp. University of Tokyo Press 1972. 1971年8月に日本で開催された第7回国際海藻学会議の講演集である。目次、前文、本文、著者索引、用語索引、種名索引および参加者リストからなる。本文は特別講演 4 篇のほかに、一般講演 131 篇を含む。一般講演は、I) 分布、分類と形態、II) 生態と応用、III) 生理と培養、IV) 化学、生化学と応用の 4 部門に分けて採録されてある。なお淡水藻についての講演もかなり含まれる。藻類に興味をもつ方や藻類の養殖や加工、あるいは薬用などの実際に関係をもつ方達には有用の書である。東京都文京区本郷、東京大学内、東京大学出版会。定価 10,000 円。なお同国際会議参加登録者には無料で頒布される。

(千原光雄)